

公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会  
平成27年度第4回理事会

日時 平成27年12月6日 10時から12時20分  
12時50分から14時10分

会場 本会事務所

出席者

理事 9名中9名 仲澤進 伊藤徳也 石川雅之  
村上守 奈良隆夫 米澤雅子  
稲田真由美 菊池健太郎 赤坂昇一  
監事 3名中1名 加倉井 弘

議長 村上守  
議事録署名人 奈良隆夫

議題1 鍼灸マッサージ祭りの反省について

村上鍼灸マッサージ祭り実行委員長より報告があった。特に事故もなく実行できた。講演の評判は良かった。講演、体験ともにやや来場者が少なかった。会員一人一人が宣伝できるようにすべき。そのためには、準備を早い時期から始める必要がある。

稲田視覚障害部長より、今回盲学校のブースを出させていただいた。校長より、次年度の祭りの際には後援団体に入れてほしい。情報を校長会などの際にお伝えしたいとのことであるとの発言があり、了承された。

## 議題2 平成28年度事業計画について

(1) 村上総務部長より、平成28年度事業計画案について提示があり、承認された。

(2) 石川財務部長より、平成28年度予算案について提示があった。

伊藤組織強化部長より、保険審査会のあり方（協同組合に委託するか実質行うか）によって、収益事業の収入が変わる可能性があるとの発言があった。

平成28年度予算案については承認された。

## 議題3 平成28年度生涯研修会の内容について

米澤学術部長より、年間を通してのテーマを設定するかについて発言があり、今回は設定しないことに決した。

仲澤会長より、保険の実務に関する研修は、生涯研修会とは別に設けるべきとの発言があった。

平成28年度の生涯研修会の講師・内容は以下の通り決した。

第1回 1日を通して、樋口匡(まさし)先生 活法について

第2回 第8回茨城県鍼灸マッサージ祭り 山口智(さとる)先生 頭痛に対する鍼灸治療の効果について

第3回 第69回関東甲越地区協議会 香取俊光先生 国際標準経穴部位について

講談を常陸太田支部の松本先生に依頼する。筑波大、茨大の落研にあたる。

第4回 午前 広瀬一郎先生 腰痛リハビリへのアドバイス  
午後 飯田孝道先生 人迎脈診について

#### 議題4 第69回関東甲越地区協議会開催について

仲澤会長より、当初三の丸ホテルを中心に検討したが、分泊を避けられないとのことで断念。マロウド筑波で開催するとの発言があり、承認された。

メインテーマを、鍼灸マッサージの将来像を考えるに決した。

議題として茨城から、無資格者と有資格者との差別化を提出することに決した。

仲澤会長より、準備については、必要に応じて仲澤が実行委員を推薦し、仲澤と村山土浦支部長を中心に進めるとの発言があり、了承された。

#### 議題5 事務局運営について

仲澤会長より、斎藤事務職員の辞職についての経緯説明があった。斎藤氏は仕事ができる人だったが、松本氏との連携がうまく取れていなかった。第3回理事会で討議し、稲田、米沢理事に間に入ってもらい、事務局の効率的な運営についての斎藤氏と松本氏との話し合いを持とうとしたが実行できなかった。斎藤氏と松本氏の出社時間、出社曜日を分けるなどを提案・実行したが、うまくいかなかった。斎藤氏より、10月末に退社したいとの申し出があったため、理事ネットに投稿し、11月半ばに退職となった。今後について松本氏より、できるだけ一人でやってみたいとの申し出があった。

石川財務部長より追加発言があった。10月末に辞職の申し出があったが、11月に第3回生涯研修会、保健審査会が控えており、そのほかにも問題を抱えているため、引継ぎをしっかりとってから退職して欲しいと考えたが、斎藤氏の気持ちが切れてしまっており、松本氏の仕事への意欲が失われてしまうのも困ることを考慮し、11月半ばに退職となった。

伊藤組織強化部長より追加発言があった。一番合ってはならないことは、業務がストップしてしまうこと。松本氏は、直井さんの助力を得ながら保健審査会はできると思う。さらに今後、協同組合の事務作業、レセソフト開発の打ち合わせ、ソフトを使用しての

事務作業など、松本氏一人では大変になる。早急に新しい事務員を入れた方がいいと思う。

仲澤会長より、松本氏に話をし、納得していただいた段階で、求人を出すことに決した。

#### 議題6 今後の事業の日程について

第4回生涯研修会 2月7日  
小委員会 3月20日  
、監査会、理事会 4月3日  
28年度総会 5月7日

#### 議題7 その他

(1) 仲澤会長より、公益法人の事務作業、財務処理について、伊藤、石川理事に集中的に行っていただいているが、なにかあってストップしてしまつては困るし、いづらかでも負担を軽減できるようにする手立てを考える必要があるとの発言があつた。

石川財務部長より、どなたかに手伝ってもらふことは難しいため、他のイベントの実行委員長などの重職は引き受けられないことを承知おき願いたいとの発言があつた。

伊藤組織強化部長より、公益法人に関する講習会に、他の理事も時間が合えば参加して欲しい。公益法人インフォメーションにこれまで上げた書類に目を通してほしい。情報を共有したい。なにかあれば理事ネットに投稿するので、可能な者が対応願いたいとの発言があつた。

(2) 伊藤組織強化部長より、常総市の水害について、本会としてボランティア派遣等の活動ができなかつたことは残念。災害時に速やかに動ける体制作りが必要との発言があつた。



討議の結果、災害時の対応について、まずは安否確認。安否が確認できた段階からボランティア派遣。仲澤会長が情報収集と指示、仲澤会長に事故ある時は伊藤副会長、次が村上副会長、石川副会長の順に担当する。円滑に情報収集するためには全会員の認識が必要。次年度総会、支部長会議の議題として提案することに決した。

(3) 茨城県アスレティックトレーナー協議会等について、情報の整理、検討が行われた。

狩野氏、北川氏を中心に、米澤理事、奈良理事が理事としての立場で関わる形で、スポーツ委員会を作る方向で進めることに決した。

(4) 仲澤会長より、更に、保健取扱いの普及啓発について、会を上げて行ってほしいし、レセプトを保健審査委員会を通すメリットについて理事会で考えて欲しいとの発言があった。

奈良保健部長より、保健について会員の関心が薄いのが悩み。会員に実務について指導して、わかってしまうと審査会に出さなくなってしまうのは残念との発言があった。

(5) 菊池広報部長より、次年度の広報誌の発行を行うかについて発言があり、討議の結果、次年度は発行しないことに決した。

議事録署名人 奈良隆夫 